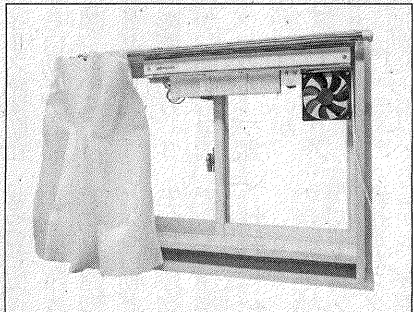
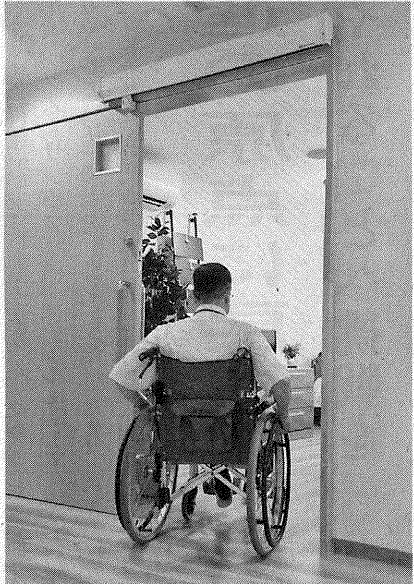


自動ト

窓の自動開閉装置も AMYドアテックとグローバル引き戸・開き戸を自動化

AMYドアテック(愛知県春日井市、横井裕治社長)と販売総代理店のグローバル(横浜市中区、丸茂秀昌社長、052・528・5665)は、「ペンリードアロボ」エンジニアードプロダクツ事業部)は、自動・手は開閉したい方向に15°



④ハイブリッド式ドア開閉装置「ペンリードアロボ」⑤窓の自動開閉装置のサンプル

動を而立したハイブリッド式ドア開閉装置「ペンリードアロボ」を販売している。既存の室内引き戸や半自動ドアをそのまま利用し、簡易施工、低コストで自動ドア化が可能。介護施設、住宅、食品工場などで採用が増えている。室内引き戸用の後付け自動開閉装置、引き違い窓用の後付け自動開閉装置も今秋の本格発売を目指して開発を進めている。「ペンリードアロボ」は開閉したい方向に15°

または300mm動かすとモーターが作動し、開閉をアシストする。人感センサーや押しボタンスイッチを取り付けることで自動開閉に対応。介護施設では職員は押しボタンで職員は押しボタンで、静かで安全に開閉できる。取り付けは開閉装置を上部に取り付け、引き戸のつり車の軸に装置との連結金具をはめ込むだけで、引き戸を傷めない。引き戸が通行者、車椅子などに接触すると、検知してゆっくり開き安全。上り、床レベル、引き分け、片引き、重量引き戸などあらゆる引き業界初となるサッシの見込み70mmに対応する薄型モーターを駆動する。開閉力を適切に制御し、静かで安全に開閉できる。取り付けは開閉装置を上部に取り付け、引き戸のつり車の軸に装置との連結金具をはめ込むことで車椅子などからリモコンで遠隔操作ができる。無線オプションはWi-Fi仕様タイプ、3.15メガヘルツ仕様タイプを開発中で、物流施設、食品工場などの自動搬送車(AGV)が施設

全国自動ドア産業振興会

14施設に無償設置

グループウェアで情報共有



神林理事長

NPO法人全国自動ドア産業振興会(神林広之理事長)は5月25日、2019年度総会を開催。新型コロナウイルスの影響で、書面、電磁的方法での実施となった。同振興会は全国の福祉法人、地方自治体などの施設に自動ドアの取り付け施工を無償提供することを主な事業として取り組んでいる。昨年12月からグループウェアを利用し、迅速で詳細な情報の共有が可能になった。2019年度の自動ドア設置事業は、三神公民館(福島県矢吹町)、矢吹町文化センター(同)、とろろざわ学園(埼玉県所沢市)、鹿沼市環境クリーンセンター(栃木県鹿沼市)、高石市立野外活動センター(大阪府高石市)、真庭市道の駅風の家(岡山県真庭市)、下関市こども発達センター(山口県下関市)、南真輪村社会福祉協議会(環境フェア)、同7月に

「としまエコライフフェア」、同10月に「マテックスフェア」と「エコメッセ千葉」に出展。ドア開け放しによるエネルギーロスや自動ドアの省エネ性能について啓蒙活動を進めている。昨年3月の公共建築工事標準仕様書改訂に伴い、評価基準を改訂。「JIS A 4722」チェックシートは、一般社団法人公共建築協会の審査が終わり採用される見込み。「JIS A 1551」(自動ドア開閉装置の試験方法)の改定作業、多機能トイレ用自動ドアのJIS化を進めている。保守メンテナンス管理の自動ドア設置事業をメインに活動する。



矢吹町文化センターへの施工前(上)と施工後



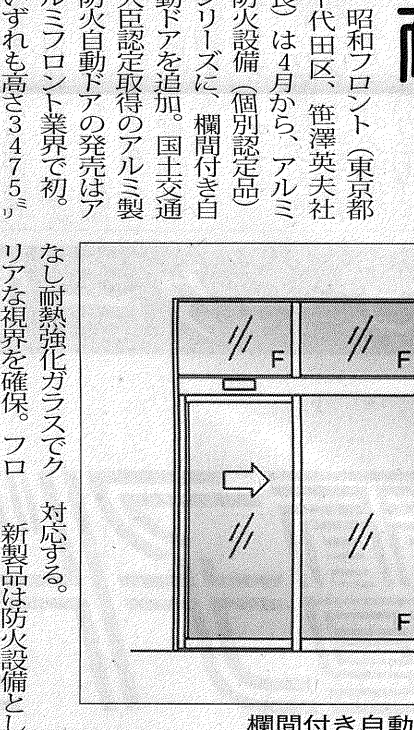
停電時も安心の自動ドアになる

停電時も安心の自動ドアになる。バッテリーユニットは、火災報知機からの信号と連動する。停電時あるいは火災報知機の信号を受けたとき、「非常時ドア開放システム」がドアを自動開放して通路を確保する。「非常時ドア閉鎖システム」はドアを自動閉鎖して防煙・防火効果を高める。

ソリック 停電時も開閉可能 通常動作中に自動で充電

ソリック(東京都板橋区、吉田憲次社長)は非常電源装置バッテリー内蔵「バッテリーユニットBU-21」を発売している。バッテリーは通常動作中に自動的に充電する。非常電源装置バッテリーが停電時もAC100Vが出ると、自動ドア装置0.5の電気を自動ドアに3時間以上供給し、自動ドアを平常通り動作させる。「BU-21」端子台ユニット、「BU-21」コントロールボックス、バッテリーパックから成る。商用電源の遮断を検出すると、自動ドア装置

が静か。無線オプションはWi-Fi仕様タイプ、3.15メガヘルツ仕様タイプを開発中で、物流施設、食品工場などの自動搬送車(AGV)が施設からリモコンで遠隔操作ができる。無線オプションはWi-Fi仕様タイプ、3.15メガヘルツ仕様タイプを開発中で、物流施設、食品工場などの自動搬送車(AGV)が施設からリモコンで遠隔操作



欄間付き自動ト

昭和三和(東京都千代田区、笹澤英夫社長)は4月から、アルミ防火設備(個別認定品)シリーズに、欄間付き自動ドアを追加。国土交通大臣認定取得のアルミ製防火自動ドアの発売はアルミフロント業界で初。いずれも高さ3475mmまで対応でき、透明な網リニアな視界を確保。フロントサッシとの連窓にも対応する。新製品は防火設備として規定される遮炎性能試験に合格している。

NPO法人全国自動ドア産業振興会は、下記地様の会費と寄付金で社会貢献しています

防火自動